

「健康食品」による健康被害事例専門委員会について

1 経緯

- ・公益社団法人東京都医師会及び公益社団法人東京都薬剤師会を通じて収集した「健康食品」の利用との関連性が疑われる健康被害事例について、「健康食品」と健康被害との関連性、健康影響の内容や程度を分析・評価することを目的に平成 18 年度に設置
- ・平成 19 年 3 月に初回の専門委員会を開催し、平成 19 年度以降は年 2 回開催

2 平成 25 年度専門委員会

(1) 開催日時

第 1 回：平成 25 年 7 月 10 日 午後 2 時から午後 4 時まで

第 2 回：平成 26 年 1 月 17 日 午後 2 時から午後 4 時まで

(2) 事例の検討結果

平成 24 年 12 月 1 日から平成 25 年 11 月 30 日までに収集した 14 事例について検討したところ、急いで調査すべきとされた事例はなかったが、積極的に情報収集するよう努めるものとされた事例があったので、都医師会、都薬剤師会を通じて各会員へ留意すべき関連情報も含めて情報を提供するとともに、類似事例の収集への協力を依頼した。

(3) 収集事例の集計結果

平成 18 年 7 月 1 日から平成 25 年 11 月 30 日までに収集した 283 事例の集計結果は別添の資料のとおり。

なお、製品と症状との因果関係については、疑わしいものとして情報提供を受けたものであるが、確定された事例はなかった。

(資料) 収集事例の集計結果

ア 収集事例の内訳

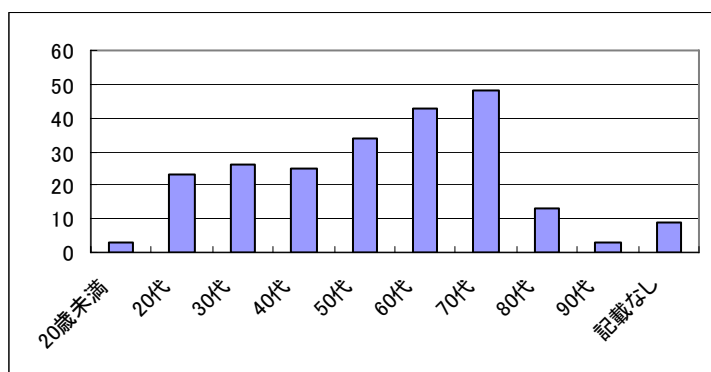
医師会	131人	延べ	176製品
薬剤師会	96人	延べ	107製品
計	227人	延べ	283製品

イ 年齢別人数分布

年齢	患者数	利用目的の主な内訳 (その他・不明・記載なしを除く)
20歳未満	3	健康維持・増進・栄養補給 2、ダイエット 1
20代	23	健康維持・増進・栄養補給 3、ダイエット 10、バスタップ 2、美肌 2、強精 1
30代	26	健康維持・増進・栄養補給 5、ダイエット 11、美肌 4、血液をさらさらに 1
40代	25	健康維持・増進・栄養補給 6、ダイエット 7、関節痛(ひざなど) 1、美肌 2、強精 1、ドライアイ 1
50代	34	健康維持・増進・栄養補給 18、ダイエット 3、関節痛(ひざなど) 7、美肌 3、癌予防 1
60代	43	健康維持・増進・栄養補給 12、ダイエット 3、関節痛(ひざなど) 11、血液をさらさらに 1、美肌 1、強壮 1
70代	48	健康維持・増進・栄養補給 16、ダイエット 1、関節痛(ひざなど) 15、血液をさらさらに 3、美肌 1、頻漏尿改善 1
80代	13	健康維持・増進・栄養補給 4、ダイエット 1、関節痛(ひざなど) 7、血液をさらさらに 1、美肌 1
90代	3	関節痛(ひざなど) 1
記載なし	9	健康維持・増進・栄養補給 1、ダイエット 2
合計	227	健康維持・増進・栄養補給 67、ダイエット 39、関節痛(ひざなど) 42

健康維持・増進・栄養補給はすべての年代、ダイエットは20～40代、関節痛は50～80代が多い。

人数 (N=227)



年齢別人数分布によると、50～70代が多い。

ウ 性別割合

性別割合によると、女性 (171人、75%) は、男性 (51人、23%) の3倍以上であった。

エ 症状・異常所見等

症状・異常所見等	患者数
発疹・発赤・掻痒	83
肝機能障害	37
胃痛・胃部不快感・吐き気	27
下痢・軟便	17
頭痛・吐気	11
尿酸値の上昇	3
めまい・ふらつき	6
血圧上昇	5
その他(検査値異常、味覚異常等)	91
詳細不明	2

※ 複数回答あり

症状・異常所見等で最も多かったものは「発疹・発赤・掻痒」の83名で、全体の29.4%を占めている。次いで「肝機能障害」が37名(13.1%)、「胃痛・胃部不快感・吐き気」が27名(9.6%)であった。

なお、症状と製品との因果関係については、疑わしいものとして情報提供を受けたものであるが、確定された事例はなかった。